（公財）明治安田こころの健康財団　研修講座
発達障害・専門講座9（26209）

自閉スペクトラム症 と インクルーシブ教育

1/24（日）

企画講師

大阪信愛学院大学
教育学部　教授

渡部　匡隆 先生

日時	2027年1月24日（日） 10時～17時10分
費用	8,500円（税込）
定員	96名
会場	明治安田こころの健康財団 講義室 住所：東京都豊島区高田3-19-10 ＪＲ山手線、西武新宿線、 東京メトロ東西線「高田馬場駅」より 徒歩約7分
申込	財団HPより申し込み受付 期限：1月22日（金）まで

セレクト講座II

◆当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として
（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を
受けております。　<承認期間：2022年7月2日～2027年7月1日　承認番号：20210392>

自閉スペクトラム症とインクルーシブ教育

2030年度の改訂に向けて学習指導要領の検討が進められています。基本的な論点整理において、どの学校でも多様な個性や特性を有する子どもが在籍している実態が顕在化している中で、多様性を包摂し一人一人の意欲を高め可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題であることが示されました。そして、個々の児童生徒に着目した教育課程編成の特例の新設・拡充により、学校共通の教育課程（１階）と個々の児童生徒に着目して編成する教育課程（２階）を柔軟に組み合わせて多様な子供たちを複層的に包摂すること、また、重層的な指導・支援の考え方に基づいて指導・支援を行うことが検討されています。

ところで、通常の学級において、自閉スペクトラム症のある児童生徒が達成感をもちながら学習活動や学校生活を送っている事例もあると思いますが、企画者の周りでは通常の学級での学習や生活に苦労し、早い段階から不登校等の学校不適応の状態にある事例も話題になります。また、2022年の国連障害者権利委員会の勧告から、インクルーシブ教育についてあらためて関心が高まり、一部の自治体では「フル・インクルージョン」を掲げて取組みを進めていますが、自閉スペクトラム症教育の歴史を振り返ると、その取組は丁寧に考えていく必要があると考えています。

今回の講座では、自閉スペクトラム症支援にご実績のある先生方に、特に義務教育段階の自閉スペクトラム症のある児童生徒のインクルーシブ教育、さらには広く教育に関する課題やあり方についてご講演を頂き、自閉スペクトラム症のある子どもの教育について、ご参加の皆様と一緒に考えていきたいと思います。ぜひご参加ください。よろしくお願いします。

【企画講師：渡部匡隆】

プログラム	時間	テーマ／講師（敬称略）
	10:00～ 10:20	企画趣旨　／渡部　匡隆（大阪信愛学院大学　教授）
	10:30～ 11:40	心理の立場から ～自閉症・行動障害のある子どもたちにとってのインクルーシブ教育を考える～ 井上　雅彦（鳥取大学医学系研究科臨床心理学講座　教授）
	11:40～ 12:40	～　休憩～
	12:40～ 13:50	教育の立場からみたインクルージョン 別府　哲（岐阜大学　名誉教授）
	14:00～ 15:10	本人にとって快適な教育環境を作っていくために大切なこと ～米国のインクルーシブ教育と放デイ利用児QOL調査から考える～ 安達　潤（北海道大学　名誉教授）
	15:20～ 16:30	医学の立場からみたインクルーシブ教育 本田　秀夫（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室　教授）
	16:40～ 17:10	講師全員による質疑・意見交換

＜注意事項＞
・時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】公益財団法人 明治安田こころの健康財団
【照会先】 〒171-0033　東京都豊島区高田3-19-10　E-mail：moushikomi@my-kokoro.jp
TEL：０３－３９８６－７０２１　ＦＡＸ：０３－３５９０－７７０５